

Q2 マイナンバーの利点は?

A 例えば、複数の窓口による国民の利便性向上、併せて行政運営の効率化、社会保障制度及び税制等における公正な給付と負担の確保を図ります。

Q3 マイ・ポータルとは?

A 平成29年度からインターネット上で各種の情報を提供する「マイ・ポータル」の利用が開始されます。マイ・ポータルとは、インターネット上に設けられた個人単位の行政窓口ともいえるもので、マイ

Q4 個人番号カードの発行は?

A 現在まで延長であります。図書館利用カードなどからカードが発行されますが、多くの移行を勧め、その活用場面を増やすなど、市民カードなどから延長要望やその後の延長することも明らかになりました。ちばレボは、情報適切利用に多大な影響を及ぼす。個人番号カードの発行を増やすことが市民サービスの向上につながります。

Q5 実証実験の目的は?

A 将来的に、業務処理の効率化がアップし、また市民協働による地域課題解決が進むことにより、市全体的なコスト削減を図られることが期待できます。

Q6 実証実験の期間は?

A 平成25年8月23日～平成26年1月31日(金)(予定)

Q7 ちばレボの目的は?

A 年度から本格運用する方へ向けてのPRも行いました。

窓口の簡単な手続きで、複数の書類を提出しなければ受け取ることもできなかつた行政窓口の簡単な手書きでの申請が、1ヶ所の窓口で要りません。

A 年度から個人番号カードの交付とともに、市内の準備状況と市民のメリットについて、伺いました。

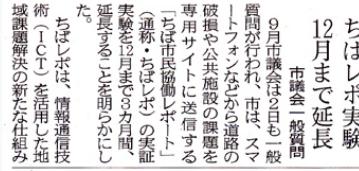
A 2年後に始まるマイナンバー、市の準備状況と市民のメリットについて、伺いました。

2年後、マイナンバー制度導入へ
A 手手続きの簡素化などによる国民の利便性向上、併せて行政運営の効率化、社会保障制度及び税制等における公正な給付と負担の確保を図ります。

2年後、マイナンバー制度導入へ
A 手手続きの簡素化などによる国民の利便性向上、併せて行政運営の効率化、社会保障制度及び税制等における公正な給付と負担の確保を図ります。

日本初「ちばレボ」で、市の課題を解決！

課題通報システム「ちば市民協働レポート（ちばレボ）」で、地域課題を投稿しよう。



テレビ・新聞などで取り上げられた「ちば市民協働レポート実証実験（ちばレボ）」は、スマートフォンやタブレットから市内の地域課題点を、写真付きレポートとしてWeb上へ投稿するシステムです。

Q8 実証実験の期間は?

Q9 今どれだけの市民が参加しているの?

A 799人(10月28日現在)

9月末の予定でしたが、市民からの延長要望も多く、12月末まで延長します。

A

平成25年7月16日～

として、「7月から実証実験が行われている約700人が参加しており、市はこれまで市民協働による地域課題解決が進むことにより、市全体的なコスト削減を図られることが期待できます。

Q7 ちばレボの目的は?

A

平成25年7月16日～

12月まで延長であります。図書館利用カードなどからカードが発行されますが、多くの移行を勧め、その活用場面を増やすなど、市民カードなどから延長要望やその後の延長することも明らかになりました。ちばレボは、情報適切利用に多大な影響を及ぼす。個人番号カードの発行を増やすことが市民サービスの向上につながります。

A

平成25年7月16日～

12月まで延長であります。図書館利用カードなどからカードが発行されますが、多くの移行を勧め、その活用場面を増やすなど、市民カードなどから延長要望やその後の延長することも明らかになりました。ちばレボは、情報適切利用に多大な影響を及ぼす。個人番号カードの発行を増やすことが市民サービスの向上につながります。

未来への道1000km縦断リレー 千葉県代表選手として出走！

「みちのくから、つながろう。スポーツのチカラで復興を後押し！」

この夏、青森から東京までの7都県を平成25年7月25日～8月7日までの14日間で1000kmの道のりを走り、被災地と全国との新たな絆をつくる、「未来（あした）へつながるイベント」が開催されました。全143区間を、

5人程度のグループで地元の方々と触れあい、復興に向かってメッセージを発信しながら、つないでいくリレーです。8月6日千葉14区ランナーとして四街道総合運動公園～千葉市立貝塚中学校までの5kmを走り、被災地の復興を願うとともに、2020年の東京オリンピック誘致（9月8日に東京開催が決定）に向けてのPRも行いました。

当時は、雷雨で何度かレースが中断しましたが、多くの沿道の皆さんの応援に支えられ、猛暑の中、青森からつながった汗にまみれたランナーの思いのこもったタスキを、無事につなぐことができました。ご声援、ありがとうございました。

詳しくは、未来への道1000km縦断リレー公式サイト <http://www.1000km.jp/> を参照してください。



活気ある千葉市へ！

民主党千葉市議会議員団 幹事

生麻のりお

市議会便り No.8



ICT化による市民サービス向上で、日本一の電子市役所へ挑戦！



一般質問5度目の登壇をしました。これまで、レガシーシステムの刷新、クラウドを活用した統合サーバーの構築、庁内ネットワークの更新、更にはマイナンバー制度と併せ業務プロセス改革など行政の電子化について質問・要望してきました。今後も専門的な見知から、ICT化による更なる市民サービスの向上・行政運営の効率化で、日本一の電子市役所を目指して全力で取り組んでいきます！

**自宅：千葉市若葉区都賀の台3-10-37
事務所：千葉市若葉区西都賀5-9-1
TEL：043-207-5561 FAX：043-207-5562
E-MAIL：aso@chibadora.com**

もっと便利に！ 無料Wi-Fi環境整備への第一歩！

これまで、公共施設などへの無料Wi-Fi（公衆無線LAN）環境の整備を要望してきました。いよいよ幕張メッセとJR海浜幕張駅前で実環境を活用した実証実験が開始となりました。幕張メッセに行かれた際には、是非ともご利用下さい。



Q5 実証実験の目的は何?

A 公衆無線LAN環境整備へ向けた方向性と実現方策を検討します。また、ポータルサークルを活用したアンケート調査を行います。街者や周辺事業者を対象とした紙ベースのアンケート調査を行います。そこで、来年秋の実証実験の公衆無線LANの整備を要望していきます。

Q6 実証実験の役割は?

A ホームページは、市民への情報発信の中核に位置づけられるだけでなく、今後オープンデータの発信窓口となります。

Q7 ホームページの目的は何?

A ホームページは、スマートフォンやタブレットが急増する中、スマートフォンやタブレットが急増する中、マルチデバイス化られます。さらに対応する仕様が発展します。スマートフォンやタブレットが急増する中、スマートフォンやタブレットが急増する中、マルチデバイス化されています。

Q8 CMSの刷新が必要ですか？

A CMS（コンテンツマネジメントシステム）は、ホームページが動作成されたり、ページのリンク切れやアーカイブを導入していきます。CMSの刷新は、昨年まで実現した集大成となりました。

Q9 機能拡充を要望するところも、より使いやすく見やすくなるよう監修していきます。

更に使いやすく、見やすくホームページの刷新へ！

